

中学科学部

◇活動内容◇

～一学期～

一～三年全員で研究テーマを話し合つて検討し、グループごとに分かれて研究をしました。研究成果はワードなどでレポートにまとめ、発表し合いました。

～二学期前半～

部員それぞれがした、夏休みの自由研究を、パワーポイントにまとめて、発表しました。レポートのまとめ方や、今後の研究がさらに良くなるように、お互いに意見や質問を出し合いました。十月には科学の祭典にスタッフとして参加し、様々な体験をしました。

～二学期後半～三学期～

一、二年で研究テーマを考え、すでに研究結果が出ていないものだけ選び抜き、グループごとに研究をし、発表します。ほかに、高校科学部の方や、先生方と、様々な実験をします。

◇活動日時・場所◇

日時：平日の放課後が基本で、必要に応じて土日、長期休暇中は不定期

場所：技術室・CALL教室

生物室・科学室

◇部員数◇

一年…八人

二年…十三人

三年…十六人

◇新入生のみなさんへ◇

新中学一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

中学科学部では、疑問に思ったことや興味を持ったことについて、深く研究しています。研究によっては、危険な薬品を使用する場合があります。でも、危険な薬品の取り扱い方は、高校科学部の方々と学ぶことができます。また、プログラミングや植物の研究をしています。深い研究ができるのは、中学科学部以外にありません。

みなさんも中学科学部に入学して、私たちと様々な研究をしませんか？

◇先輩の皆さんへ◇

科学部に入学したばかりのころ、レポートのまとめ方が分からなかったために、悩んでいました。しかし、先輩方が分かりやすく教えてくださったおかげでレポートの書き方をすっかり学ぶことができました。

二年生になつてからは、私たちが部活全体をまとめていく立場になりました。なれない立場に困つたことも多くありました。だから今まで先輩方が教えてくださったことをもとに、明るく楽しい科学部づくりをしていきたいです。応援よろしくお願いします。



科学部

《活動記録》

○活動日 月～金曜日

土曜日(不定期)

○活動場所 生物室

CAI教室



《活動紹介》

私たち科学部は、全国総合文化祭で入賞することを第一目標に、研究を行っています。

科学部では、土壌動物の採取と土壌栄養塩類の分析のために、彦根山と荒神山で現地調査を行っています。土壌動物(ササラダニ)を採取した後は顕微鏡で同定作業を行っています。ササラダニの研究については、横浜国立大学名誉教授の青木淳一先生にご指導を受けています。また、土壌栄養塩類の分析については、滋賀県立大学の分析機器を使用し、滋賀県立大学教授須戸幹先生からご指導を受けています。

長期休暇には、大学との連携講座に参加しています。他校との交流を交えながら、普段の生活では得られない専門的な研究にふれることができます。

《新入生の皆さんへ》

新高校一年生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。

私たち科学部は、計18名で日々活動しています。研究の内容や実験の手順など、覚えることは多く一度見ただけでは理解が難しいですが、積み重ねれば必ず理解ができるようになります。さらに、大会で結果を出すことで、充実感や達成感を味わうことができます。さらに、一年生の内から役割を与えられ、責任感を育むことにより自己の成長につながります。そしてそれは、進学先で活用できる力を身につけることにもつながります。また、科学部と聞くと理科が得意な人が入るイメージがあると思いますが、そんなことはありません。理科が苦手な人でも大歓迎です。

少しでも興味を持った方は、ぜひ科学部に見学に来てください。科学部一同、皆さんをお待ちしています！

《先輩方へ》

先輩方には、三年間に渡り、大変お世話になりました。秋の大会では県3位で惜しくも全国出場はできませんでしたが、優秀な成績を残すことができました。また、多くの他校の生徒や先

生方に、素晴らしい研究発表だったとお褒めいただきました。このような結果が残せたのは、これまでの研究の成果と先輩方の熱心なご指導のおかげです。先輩方には本当に感謝しています。今までありがとうございました。

先輩方のますますのご活躍を心より願っております。

《活動成績》

【第41回全国高等学校文化祭】

ポスター発表部門

「土壌から探る彦根山の環境変化」

～ササラダニ類の変化～

文化連盟賞

【第71回滋賀県児童生徒科学研究発表大会】

高等学校の部

「間伐による土壌表層の栄養塩類への影響」

～彦根山の土壌調査～

県第3位 科学教育研究会会長賞

科学部部員

中学3年(早期入部)8名

高校1年 7名

高校2年 3名

高校3年 5名